

## 宝登山山行報告(2024年2月11日(日))

春の山行として、“山行と花”の両方を満喫できる「宝登山とロウバイ」に出かけることにした。「宝登山」(ほごさん)は秩父の長瀨付近にある497mの低山であるが、山頂付近にロウバイ園があるため2月になると花を見に行く人でにぎわう。さらに野上駅からの縦走路は『長瀨アルプス』と名付けられていて、軽いハイキングコースとしても人気がある。今回も花とハイキングの両方を狙って、池田・伊藤・浮津・中島・三浦・陽田の6名が参加した。

9時31分に寄居経由の秩父鉄道野上駅で降りたのは伊藤・浮津・中島の3名で、駅前では西武秩父経由で来た池田・三浦の2名と合流した。なお、陽田はロープウエー利用なので宝登山山頂で合流予定となっている。普段は利用者の少ないローカル駅だが、今日は電車からあふれんばかりの人が降りてきた。おそらくほとんどが我々と同じコースに行くのであろう。

駅前で軽く準備して9時40分に出発する。登山口までは登山者の列が途切れずに続いており、道に迷う心配はない。15分ほどで萬福寺に到着し、すぐ先から登山道が始まる。登山道に入ると植林帯の中の道となり、先日の大雪が結構残っている。今日は空気が冷たいが、快晴で日差しも暖かいので日向は融けているが、日陰はたっぷり残っているのでスリッパに注意しなければならない。乾いた地面と残雪を交互に踏みながら15分ほど斜面を登って稜線の肩にたどり着いた。稜線は風が冷たいが、上りで一汗かいたので気持ちが良い。

そのあとは少しずつ上りとなるが、全体的には緩い広葉樹の尾根歩きである。北側斜面を歩くとかなり雪が残っていて、軽アイゼンを装着する人もいる。アイスバーンにはなっていないので、気を付ければ問題なく歩けるが、たまにいる(無謀な)スニーカーの人は苦戦している。前後に人が途切れないが、我々は安全第一とゆっくり歩いた。

歩き出して1時間くらいで「氷池分岐」に着いた。最初は「氷池」には行かない予定であったが、皆さんが行きたいというので急遽変更した。すでに行ったことのある三浦さんには先に行ってもらい、残り4人でザックを置いて空身で「氷池」のある谷に降りて行く。谷に降りる道は明瞭で雪が残っているものの沢には水が流れている。谷に沿って15分ほど下るとガードレールが現れ、ガードレールの下谷を見下ろすと、プールのような水溜りがあり表面がわずかに凍っている。ここで製造している天然氷のかき氷は美味しいのだそうだ。「氷池」を見たので安心して11時30分ごろ稜線まで戻った。

再度緩やかな稜線を歩いて行き、20分ほど歩くと車道に出た。この車道を登って行くと12時10分ごろ山頂への登山口に着いた。ここからは北側の急斜面で雪も多く滑りやすいので、気を付けなければならない。ただ、ほとんどが木の階段となっているので、注意すればそれほど危険ではないが、下りの人はロープにつかまりながらも苦戦している。かなりきつい階段を上り終えたと思うと次の階段が現れる。これを4回か5回繰り返して、12時30分にやっと山頂にたどり着いたが最後はきつかった。

三浦さんは丁度12時に山頂に到着し、残りの方々が来る迄、山頂での写真撮影に余念がなかった。遠く正面には雪を纏って白い「武甲山」、右端には家形の「両神山」、その左遠くに「木賊山・甲武信岳・三宝山」などが望める、手前を見ると満開の「ロウバイ」の花だ。12時30分に伊藤さん達のご到着、全員が集合した。頂上広場は大勢の人で混雑しているが、なんとか日当たりと展望の良い場所を確保できたので、木のベンチと伊藤さん持参の“ブルーシート”で昼食・休憩を摂った。三浦さんの『ドラエモンのポケット』から泡の出る飲み物や

おつまみ、クッキーが出てきて、ご馳走になりました。

下山前に「宝登山」の標柱の前で証拠写真を撮ろうと考えたが、撮影者で行列ができた。暫く待つてようやく後の人にシャッターを押してもらい撮影できた。13時10分、「3,000本」と云われる「ロウバイ園」の中を歩いて写真を撮りながら下山する。以前来た時には無かった奥宮前の針葉樹林がすっかり切り倒されて、ロウバイ園に変わっていた。

13時25分、ロープウェイ上駅の広場に到着して驚いた。ロープウェイに乗車しようとする人達で広場が埋め尽くされている、百数十名はいるだろうか。その上トイレにも行列ができていた、特に女性の方は大変だった。結局15分位掛って、13時40分に下山道へ向かう。レストハウス先の道は30m位の距離だったが、急でしかも雪が残っている、滑らないよう注意しながら下った。坂の途中ではどうもスニーカーらしい女性が立ち往生していた。結果的には、少し先の「小動物公園」手前まで進んで折り返せばよかったのだ。

下り道は“つづら折れ”で日の差さない所は雪が残っており、しかも凍っている場所もある。曲がり角は道が傾いているので特に怖い、スニーカーの人滑って転んでいる人も時に見かけた。14時25分に「宝登山神社」に着いた。本殿は急な約50段の石段の先だ。早速池田、中島、三浦さんが参拝に登っていったが、小生は石段下で“遥拝”することにした。

ここからは緩い坂道を一気に下り、14時55分長瀬駅前のそば処『むらた』に着地した。「そば処」だが生ビールもあるのだ、店中央に据えられた自然木で作ったテーブルを囲んで座る。アルコール組とノンアルコール組に分かれて、それぞれ喉の渇きをいやした。それぞれ色々歓談されたらしいが、最後に三浦さんの『ドラエモンのポケット』から例の“ポカリスエットのボトル”が登場した、中島さんが“お湯割り”にするため、お姐さんに「お湯のポットを貸して下さい」とお願いしたが、他の客にも使うからと断られてしまった。16時10分、ようやくお神輿を上げて店を出た。長瀬駅からは、浮津、中島さんが寄居方面に、伊藤、池田、三浦、陽田は御花畑方向にと別れ、ホームで解散した。

今日は快晴・無風の好天気で、一部凍った雪道などもあったが、トラブルは無く、満開のロウバイを満喫することができた。

以上 伊藤・陽田



武甲山を背景にロウバイの花





「ロウバイ」の花



「ロウバイ園」



遠方に「木賊山」「甲武信岳」「三宝山」



「両神山」



「宝登山神社」



「全員集合」

写真(三浦): <https://youtu.be/6h0RdGgSxf4>